

インターバンクの声（2014年12月26日）

一年に一回は経験しているはずだが、ロンドンとニューヨーク市場が休場となった翌朝に市場と対峙するのがこれほど不思議な感覚だったのか、去年のこの日の感覚すら記憶に薄くなってしまっている。これは単に自分が劣化しているだけのことだろうし、みなさんは去年のこともしっかり覚えていらっしゃると思います。さりとて相場も昨日の東京市場の夕方とほぼ同じレベルということもあり、万が一私同様やや去年のこの日の記憶が怪しくなっている方々もいらっしゃることを想定して、2013年12月26日の相場を振り返って、足許の相場と来年に向けての展望を思い巡らす参考にして下さればと思います。

	2014. 12. 26 7:00AM	2013. 12. 26 10:00AM 頃
ドル・円	120. 10	104. 85
ユーロ	1. 2225	1. 3668
(ユーロ・円)	146. 82	143. 31
豪ドル	0. 8120	0. 8911
(豪ドル・円)	97. 52	93. 44

ドル円の円安ドル高進行は言うまでもないですが、ドル高が対ユーロや豪ドルでも進行したことで、ユーロ/円や豪ドル/円が意外と円安になっていない気がします。やはり各国の経済の強弱と金融政策の差がそのまま影響しているようです。もう少しドル高が進むと想定するのが一番自然のようです。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。